

第12回

若手研究者フォーラム

主催：大阪大学 人文学研究科 研究推進室（若手支援部門）

本フォーラムは、人文学研究科に所属する若手研究者（修士・博士・研究生）に発表の機会を提供し、分野を超えた学術交流を促進することを目的としています。優秀な発表者には「人文学研究科優秀若手研究者奨励賞」が授与されます。学部生の聴講も歓迎します。

日時

2026年9月30日（水） 10:00 – 16:10

会場

大阪大学豊中キャンパス 文法経本館

A会場：大会議室 ／ B会場：中庭会議室

発表形式 各15分＋質疑応答10分

プログラム

午前の部 10:00 – 12:10

発表 1 – 5

午後の部 13:20 – 15:25

発表 6 – 9

授賞式 16:00 – 16:10

奨励賞授与／閉会の辞

発表タイムスケジュール

※ 発表15分・質疑応答10分

A会場：大会議室

10:05 発表1

堀合 愛梨沙（哲学哲学史・M1）
自然化された言語(哲)学

10:30 発表2

西脇 遥香（現代日本学・M2）
19世紀初頭の大坂における彗星観—山片蟠桃「彗星考」
に着目して—

10:55 発表3

桑原 渉（東洋史学・M1）
明代興都皇莊—囲い込まれた「帝室私産」としての「王
土」—

11:20 発表4

井上 拓土（西洋史学・M2）
19世紀中葉メキシコにおける植民事業と土地所有の変容
—「荒蕪地」の法的位置づけに着目して—

11:45 発表5

黒川 俊（現代日本学・M2）
戦後派知識人にとっての六〇年安保闘争—「若い日本の
会」に着目して—

13:20 発表6

後藤 翼（哲学哲学史・M1）
決定論を「語ること」はいかにして失敗するか
—カント、ストロソン、アーペルから考える言語実践の
階層性—

13:45 発表7

MUNKHCHULUUN MUNKHZUL（現代日本学・D1）
モンゴル抑留戦没者遺骨帰還までの半世紀
—戦後強制抑留・冷戦構造と遺骨収集事業—

14:10 発表8

松岡 寿々代（考古学・D1）
文化財へのミュオン分析法の開発に関する学際研究とその
課題—

14:35 発表9

伊藤 竜馬（西洋史学・M1）
ブラジル軍事政権の隠蔽と協働
—軍政令第5号下におけるリオ国際歌謡祭での日本人歌手
の実践—

15:00 発表10

山本 風花（フランス文学・D1）
マルセル・ブルースト『失われた時を求めて』における
「鈴の音」—二つの鈴grelotとclochetteをめぐる—

B会場：中庭会議室

10:05 発表1

齋藤 風伯（日本東洋美術史・M2）
刀剣鑑賞のはじまりについて
—北野天神縁起弘安本系諸本の図様から—

10:30 発表2

浦 詩葉（日本東洋美術史・M1）
観心寺如意輪観音坐像の宝冠について

10:55 発表3

大久保 水貴（日本文学・日本語史学・M1）
『和漢朗詠集』上巻における「季節夜」
—公任による再分類の操作から—

11:20 発表4

中村 遼（日本東洋美術史・M2）
狩野永岳筆「舞楽図屏風」（東京国立博物館）の制作年代に
ついて

11:45 発表5

山口 杏奈（日本東洋美術史・M2）
福岡・東光院十二神将像の造形的特徴と制作背景
—甲冑表現の比較を中心に—

13:20 発表6

余 明珠（日本文学・日本語史学・研究生）
村上春樹『アイロンのある風景』論
—語りの構造と時間構成による物語世界の不安定性に着
目して—

13:45 発表7

篠原 圭織（日本文学・日本語史学・D1）
『栄花物語』贈答歌の物語機能—三条・城子贈答歌をめ
ぐる—

14:10 発表8

鈴木 文乃（日本文学・日本語史学・M2）
太宰治『津軽』論—帰京した「私」に注目して—

14:35 発表9

箕田 祐之介（演劇学・M2）
「アングラの芸術家」から「教育者」へ
—太田省吾の演劇教育の実践について—

15:00 発表10

YANG YIHUA（日本文学・日本語史学・研究生）
協力と抵抗のゆらぎ—漢文脈から読む中島敦「弟子」—

授賞式 16:00 – 16:10 奨励賞授与／閉会の辞